

1 事業概要

事務事業名		社会教育指導員設置事業		課名	公民館	事業No.	295	
				会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	継続	
				開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
		分野別計画			飯田市版総合戦略			
					飯田市教育振興計画			
	法令・例規等			飯田市公民館基本方針				
			社会教育法					
事業目的	対象	市民						
	意図	全市的な課題に対しての学習活動を支援する						

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	社会教育コーディネーターを配置し、次の取組を展開しました。		社会教育コーディネーター賃金(2名)				3,846	
	・多文化共生に関わる事業(文化庁委託日本語教育事業等)							
	・子育て支援(子育て講座や子育てサークルリーダー育成)							
	・若者講座(青年層と地域をつなぐ講座)							
	・フィリピンレガスピプロジェクト(JICA委託事業窓口事務)							
	・交流と学びの会の支援							
	・その他新たな課題に対応する講座等の開催							
			その他の経費				0	
	活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績
活動日数		日	462	453				
29年度決算(千円)	予算額	3,847	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	3,846						
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	3,846							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	2	3,847	3,846	社会教育指導員設置費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・文化庁日本語教育事業の委託を受け外国人住民が地域とつながる機会として、また地域住民の多文化共生の意識の醸成につながる取組ができました。さらに、全市的な課題として取り組んでいきます。 ・小・中・高校生の地域への関わりから、なかなか地域とのつながりがもてない若者世代へのアプローチとして開始しました。具体的な実践活動を通じた取組としていきます。							
上記の課題解決のための有効策		飯田市公民館は地区や社会が新たに取り組むべき課題を掘り起こして各地区公民館の取組に結びつける役割を持っており、事業構想力が求められています。若者や高齢者、子育て、多文化共生など現代社会が抱える今日的な課題に対し、社会教育コーディネーターを配置し、解決に向けた事業展開を進めます。							
次年度に向けての取り組み		・文化庁事業による日本語教室を開催します。 ・JICA草の根事業事務と学びの会の支援します。 ・子育て支援事業・若者講座を行います。							